

2018年度 静岡大学公開講座

サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ — スペイン、フランス、メキシコのカミーノ —

The Camino de Santiago - Spain, France, Mexico-

世界遺産となっているサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路（カミーノ・デ・サンティアゴ）には、どのような歴史があり、またどういった地域と関わりがあったのでしょうか。サンティアゴ巡礼の起源や発展、スペイン以外の地域への信仰の広がりや文学文化との関係について知識を深めます。

日時: 11月3日(土) 9:30受付開始 会場: あざれあ 大会議室

入場無料 定員100名



【第一部】 10:00～11:00 スペイン中世盛期におけるサンティアゴ崇敬と巡礼路の発展
立命館大学経済学部准教授 田辺加恵

サンティアゴ（聖ヤコブ）とはどういう人物で、いつごろサンティアゴ崇敬はイベリア半島に広まったのか。また、サンティアゴの墓所に参詣するための巡礼路が中世盛期にどのようにして発展したのかを探ります。



【第二部】 11:00～12:00 後期中世におけるサンティアゴの衰退とラテンアメリカへの道
静岡大学人文社会科学部准教授 大原志麻

中世後期トラスタマラ朝カスティーリャ王国では、なぜサンティアゴ信仰が失われてしまったのか？ そしてなぜカトリック両王期にサンティアゴ信仰が復興され、サンティアゴはメキシコへ旅することになったのか？これらの謎にせまります。



【第三部】 13:00～14:00 メキシコのサンティアゴ～先住民のキリスト教化と聖人崇拜～
専修大学文学部教授 井上幸孝

16世紀にスペインの植民地となった中南米各地にもサンティアゴ信仰は伝わりました。アステカやマヤなどの文明が栄えたメキシコにどうやってキリスト教が広まり、現代までサンティアゴ信仰が続いているのかを通観します。



【第四部】 14:00～15:00 スペイン語圏文学におけるサンティアゴ
静岡大学人文社会科学部教授 花方寿行

人々に長い間崇敬されてきたサンティアゴは文学文化の中でどのように描かれてきたのでしょうか？その実像にせまります。



【第五部】 15:00～16:00 サンティアゴを巡るスピリチュアル・ブームと観光
静岡大学人文社会科学部教授 今野喜和人

20世紀以降今日までスピリチュアル・ブームと結びついたサンティアゴ巡礼のイメージについて紹介します。

■ お申し込み先: 事前に11月2日(金)必着で
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 人文社会科学部総務係
まで、FAXもしくは葉書に、郵便番号、住所、氏名、連絡先、メールアドレス、
(本学学生の場合は所属学部、学籍番号)、講座名を明記の上、お申込み
下さい。

■ 問い合わせ先: langhikaku@gmail.com

■ 会場: あざれあ 大会議室 (静岡駅から徒歩10分、右図参照)
住所: 静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

